



## ぶどう「袋かけ作業」を行いました。

14日(木)、3・4年生がぶどうの袋かけ作業を行いました。今年のめげな会会長、鈴木寛太さんの発案で、大迫高校生も作業に加わり、大勢での作業となり、みんな張り切って作業に取り組んでいました。ぶどうの作業の経験に加えて、高校生との交流もできて、子どもたちにはとても貴重な時間となりました。収穫が楽しみです。「ぶどうめげな会」のみなさん、ありがとうございます。作業の様子は大迫高校ホームページに掲載されています。(右は岩手日日新聞7月18日号。掲載許可を得ています)



ぶどうの袋掛け作業に汗を流す大迫小の児童と大迫高の生徒

4年生によるぶどうの袋掛け作業が行われた。今回は初めて県立大迫高校の生徒も参加し、児童と生徒が交流を深めながら作業に励んだ。

### 花巻

立大迫小学校(宮川) 琢夫校長、児童115人で14日、3、4年生によるぶどうの袋掛け作業が行われた。今回は初めて県立大迫高校の生徒も参加し、児童と生徒が交流を深めながら作業に励んだ。

### 大迫小児童がブドウ袋掛け 高校生も参加

高校生も参加

花巻市大迫町の市

同校では地元住民で組織する大迫小ブドウめげな会から指導を受け、児童がブドウ栽培について学習。3、4年生合わせて42人が、同高の1〜3年生9人と同会の会員8人から指導を受けた。

同会の鈴木寛太会長(30)は「ブドウに袋を掛けることで害虫、病気の対策になる」と説明。児童はグループに分かれ、生徒に手伝

てもらいながら熟す前のブドウに優しく袋をかぶせた。生徒は「このブドウには掛けてもいいよ」「枝を折らないようにね」などと児童にアドバイスし、会場は笑顔であふれた。同小の伊藤六夏さん(3年)は「袋をピン付けするのが難しいけれど楽しい。ブドウは好きなので、大きく育ててほしい」とにっこり。同高の田中咲樹さん(3年)は「子供に教える機会は少ないので新鮮に感じる。みんな手際が良く、作業が上手で驚いた」と感心していた。

ブドウは9月に収穫する予定。鈴木会長は「順調に成長している。高校生には収穫作業にも参加してもらおう。町民が栽培に参加できる地域に開かれたブドウの木にしていきたい」と話していた。



花巻信用金庫主催 「児童桜の絵画コンクール」入賞！ おめでとうございます！（敬称略）

- 佳作 2年の部 梅津 乃愛 松坂 優凜 山影智明希
- 4年の部 佐藤菜々子 丹野 紬月

22日の終業式後に表彰します。なお、入選作はしんきん大迫支店に掲示してあるそうです。



# 7月に行った、さまざまな取り組みを紹介します。

## ○大迫小学校創立150周年記念事業 実行委員会 設立総会（5日）

令和5年度に創立150周年を迎えるにあたり、学校・保護者・地域の3者が協力して記念事業を行うための「実行委員会」を設立しました。本校職員・PTA役員・大迫教振の委員さんで構成された委員会の総会で、以下の方針を決定しました。今後は「記念行事部会」「記念誌部会」を中心に作業を進めていくことになります。

○令和5年7月1日（土）に、創立150周年の記念行事を行うこと。学校は授業日として全校児童も参加させること。記念行事は、児童による表現活動（郷土芸能など）を中心としたものとする。

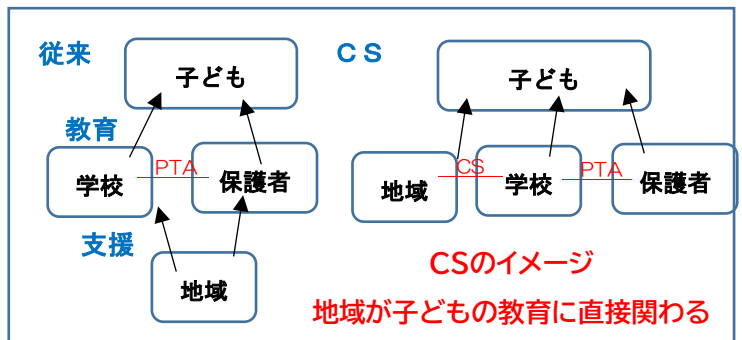
○150周年の記念誌を作成し、発行すること（120周年以降の30年間の記録を主目的とする）。

○大迫町の住民・大迫小の卒業生と、旧職員（過去30年間）には協賛金を募集し、協賛いただいた方には記念誌をお渡しすること（協賛はあくまでも任意とし、強制するものではないこと）。

## ○大迫小・中学校区 学校運営協議会（15日）

学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティー・スクール（CS）」と呼びます。CSの目的は、地域が学校運営に直接関わることで、地域住民の教育への主体的な参画を促すこと（右のイメージ図参照）。大迫では教振がその役割を果たしてきたことから、教振の委員

の皆さんで学校運営協議会を組織し、大迫中学校を会場として15日に第1回の会議を開催しました。大迫中の合唱集会の様子も参観させていただき、懐かしい卒業生たちが歌う合唱にうっとりしました。今後はCSを通して、地域や中学校との連携をさらに強めていきたいと思っています。 **大迫中 合唱集会の様子** →



## ○大迫小学校 救命講習・入門コース（15日）

夏休みのプール開放に向け、例年実施している講習ですが、今年は児童・保護者・職員等を合わせて昨年の約2倍、45名の参加をいただきました。大迫分署の方にご指導いただき、緊急時の対処方法などについて、しっかり学ぶことができました。

# 充実した夏休みになりますように！

規則正しい生活を送れるように、朝ご飯は家族みんなで食べましょう。また、ゲームやスマホの時間が増えすぎないように、ご家庭でルールを決めるなど、バランスのとれた時間の使い方ができるようにご指導をお願いします。子どもにとって、安全で楽しい夏休みになるよう願っています。

○学習 ←できるだけ毎日、同じ時間に取り組むように習慣化しましょう。

○読書 ←「15分間家族読書」への取り組み、ご協力をお願いします。

○家の手伝い ←家族の一員としての自覚を高めるためにも、決まった手伝いをさせましょう。

○運動 ←「体力アップ60運動」を意識して、1日60分の運動を目指しましょう。運動とあわせて、毎日のリズムを大切にし、しっかりと睡眠をとり、3食をきちんととるようにしましょう。

☆夏休み中は、（学習＋読書＋家の手伝い＋運動）時間 ≥ （ゲーム＋スマホ）時間 を達成しましょう！